

関東の森林から



国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25
TEL.027-210-1158

<http://www.rinyamaff.go.jp/kanto/>



大江湿原獣害対策事業 尾瀬岳国有林（福島県檜枝岐村）

（撮影者：会津森林管理署 南会津支署 小木曾 基雄）

ユネスコエコパークに「只見」「南アルプス」が登録

計 画 課

第65回全国植樹祭「未来へつなぐ森の力～復興から創造へ～」

技術普及課

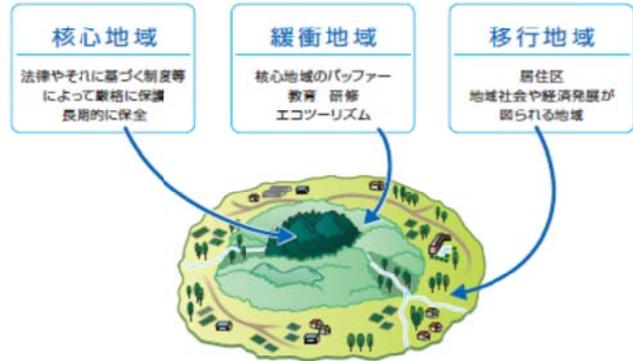
私と国有林 社会貢献の森「スカウトの森」活動から学ぶ

ガールスカウト千葉市協議会 会長 安達 節子氏

ユネスコエコパークの仕組み



それぞれの機能は独立のものではなく、ユネスコエコパークを相互に強化する関係です。この3つの機能をはたすために3つの地域を設定しています。



3つの地域 (ゾーニング)

(文部科学省ホームページより)

ユネスコエコパークに「只見」「南アルプス」登録

計画課

平成26年6月10日から13日までの日程で、スウェーデンにおいて「第26回人間と生物圏 (MAB) 計画国際調整理事会」が開催され、我が国が生物圏保存地域 (国内呼称…ユネスコエコパーク) への登録を推薦していた「只見」(福島県) 及び「南アルプス」(山梨県、長野県及び静岡県) について、登録することが決定されました。

また、併せて、既に登録されている「志賀高原」(群馬県及び長野県)

ユネスコエコパークとは、ユネスコの自然科学セクターで実施されるユネスコ「人間と生物圏計画」における一事業として実施しているものです。世界自然遺産が顕著な普遍的価値を有する自然地域を保護・保全することを目的としているのに対し、ユネスコエコパークは生態系の保全と持続可能な利活用の調和を目的としており、保護・保全だけではなく

について、拡張されることが決定されました。

自然と人間社会の共生に重点が置かれています。

この取組は、昭和51年に始まり、平成25年5月現在の登録総数は、17カ国、621地域となっています。

ユネスコエコパークは、「保存機能 (生物多様性の保全)」、「経済と社会の発展」及び「学術的研究支援」の3つの機能を有し、個々の機能は独立のものではなく、相互に強化する関係とされています。

また、この3つの機能を果たすために、①厳格に保護し長期的に保全する「核心地域」、②核心地域のバッファーとなり、教育、研修、エコツーリズムに活用する「緩衝地域」、③居住区であり、地域社会や経済発展が図られる「移行地域」を設定します。

我が国では、昭和55年に登録された、「志賀高原」(群馬県、長野県)、「白山」(石川県、岐阜県、富山県、福井県)、「大台ヶ原・大峰山」(奈良県、三重県)、「屋久島」(鹿児島県)、及び平成24年に登録された「綾」(宮崎県)の5か所のユネスコエコパークがありますが、今回、「只見」と「南アルプス」が仲間入りすることとなり、7か所となりました。

今回、登録が決定した「只見」と「南アルプス」を含め、我が国では、ユネスコエコパークの核心地域や緩



ブナ天然林 (只見町)

衝地域は、国立・国定公園や国有林の保護林等として保全されており、関東森林管理局においても、これらの地域の適切な保全に努め、後世に残していく考えです。

【只見】

我が国を代表する原生的なブナ林が広がっており、核心地域及び緩衝地域のほぼ全域が林野庁が管理する国有林となっています。関東森林管理局では、「奥会津森林生態系保護地域」や「会津山地緑の回廊」等に設定し、厳正な保護や動植物の移動経路の確保を行っています。

移行地域は、里地里山が広がる農山村地域であり、持続可能な農林水産業やエコツーリズムが行われています。

【南アルプス】

本州中部の太平洋側における山地帯から高山帯に至る典型的な植生の垂直分布が残されており、核心地域の約6割が国有林となっています。関東森林管理局及び中部森林管理局

では、「南アルプス南部光岳（てかりだけ）森林生態系保護地域」等に設定し、厳正な保護や保全を行っています。

移行地域では、風土を活かした茶の栽培、扇状地や河岸段丘上での果樹栽培、自然環境や地域の歴史・文化を活かした環境教育・エコツアーズム等が行われています。

【志賀高原】
昭和55年にユネスコエコパークに登録されましたが、平成7年にユネスコエコパークの機能として「経済と社会の発展」が追加されたことから、その機能を果たす移行地域の設定を含めて拡張されたものです。



甲斐駒ヶ岳と水田（南アルプス市）



式典・お手播き会場（写真提供：新潟県）

平成26年6月1日、平成16年に発生した中越地震から10年の節目となる新潟県で、天皇、皇后両陛下のご臨席のもと、「第65回全国植樹祭」が開催されました。

午前、長岡市内のコンベンション施設「ハイブ長岡」において、式



天皇陛下お手植（写真提供：新潟県）

典とお手播きが行われ、午後は、両陛下が中越地震の震源地に近い「川口きずな館前広場」にお移りになり、お手植え行事が行われました。

関東森林管理局からは、須藤局長をはじめ、新潟県内の各森林管理署長及び支署長が、式典と長岡会場での植樹に参加しました。また、植樹会場は、長岡市内だけでなく小千谷市、魚沼市、十日町市にも設けられ、晴天にも恵まれて、県内外

第65回 全国植樹祭
「未来へつなぐ森の力」復興から創造へ」
技術普及課



木工・しおり作り（サテライト会場）

からの多くの参加者が植樹を行いました。

今回の全国植樹祭は、「未来へつなぐ森の力」復興から創造へ」を大会テーマに開催され、森林づくりや緑化活動の推進とともに、新潟県が中越地震の際に寄せられた支援への感謝と震災からの復興を全国に発信する植樹祭となりました。

【サテライト会場に出展】
中越森林管理署と関東森林管理局（技術普及課）では、式典会場に隣接する千秋が原「緑の広場」に設けられたサテライト会場において、子供たちを対象にした木工クラフトや、中越地震からの復興を紹介するパネ



治山事業の展示(サテライト会場)

ル展示などを行いました。
 中越森林管理署ブースでは、会場を訪れた子供たちが木片・木の実を使ったクラフトや、押し葉・押し花を使ったしおり作りを行い、森林にある様々な素材に触れる体験をしてもらいました。
 また、関東森林管理局ブースのパネル展示では、民有林直轄治山事業による中越地震からの復旧の取組を紹介するとともに、長岡市のご協力により山古志地区での中山間地型復興住宅の整備についても紹介しました。来場した方からは、「工事したところが、ずいぶん緑になってきているのですね」といった感想が聞かれました。

同会の主な活動については、平成14年から会員と一般公募された市民により、会津若松市東山ダム周辺の国有林を中心にボランティアでサクラ、モミジ、ミズナラなどの植樹、遊歩道の整備、森林散策会の開催や山のクリーンアップ活動などを行い、その活動が評価され、平成15年に、国土緑化推進機構主催の全国育樹活動コンクールにおいて「緑化推進機構理事賞」を受賞されています。

また、平成18年からは、活動拠点

去る6月1日に新潟県長岡市で開催された第65回全国植樹祭において、美しい背あぶりの森をつくる会(福島県会津若松市)代表の雪孝一さんが緑化功労者として林野庁長官から感謝状が贈られました。
 「美しい背あぶりの森をつくる会」は、平成13年に「森林との共生」などに賛同して集まった会員約20名により結成されました。

「美しい背あぶりの森をつくる会」緑化功労者として表彰

会津森林管理署



受賞した雪 孝一さん

である東山ダム周辺の国有林を社会貢献の森(悠遊の森林)とし、6月と10月に「一里山づくり」をテーマに一般公募した参加者とともに、植樹、枯れ木の植え直しや剪定等の活動、悠遊の森林付近の沢において、ホタルの住める沢づくりとして、草刈りやカワニナの放流なども行なわれており、今回の受賞は、多年にわたるこれらの活動が評価されたものです。

今後においても、同会の活動をより一層盛り上げていただき、森林・林業の発展、緑化思想の高揚に貢献していただくことを期待しております。

今月の表紙
「大江湿原獣害対策事業」



写真の場所は、福島県檜枝岐村の尾瀬岳国有林で、尾瀬沼の東に広がる大江湿原を取り囲む林の中です。
 ニホンジカによる被害が各地で広がる中、大江湿原においても植生被害が増加し、森林生態系における影響だけではなく、ニッコウキスゲが減少し観光の面にも打撃を与えていることから、湿地を囲む約3.4kmに高さ2mの金網柵を設置しニホンジカの侵入を抑えようとするものです。
 雪対策など課題はありますが、植生回復や地元の期待も大きく、関係機関とも連携しながら獣害対策に取り組んでいます

赤谷の森から



ホンドテン

本年度は、赤谷センターや赤谷プロジェクトの新たな取組を紹介していきます。第1回として、

【ホンドテンモニタリングを活用した環境教育教材の開発】について検討状況をご紹介します。

類や甲虫類も好物です。樹上のリスや鳥も襲います。植物では、ヤマブドウ、サルナシ等も食べ、日本に暮らすほ乳類の中でもトップクラスの雑食性を誇ります。

このホンドテンは、ネズミ等の小動物を食べることで、その数を調整し、植物の実を食べながら、糞として種子を散布するといった森林の生態系の中の役割を果たしています。

赤谷プロジェクトでは、サポーター（ボランティア）が中心となってテナの糞を採取し、プロジェクトが分析・評価するホンドテンモニタリング調査（以下…テンモニという。）を約8年間にわたって行ってきました。その数は4198サンプルにも及びます。この成果を環境教育に生



テンモニ調査の状況

かすべく新たな取組みを始めました。【テンモニからはじめる森林環境学習】

ホンドテンのフイールドサイン（動物の痕跡（糞や足跡））を探す（動物の痕跡（糞や足跡））を探す長年のモニタリング活動で培われてきたノウハウを活用し、ホンドテンが生息する全国を舞台に「人と森林（自然）とのつながりの新たな扉を開く」日本初？のホンドテンにスポットを当てた自然観察ガイドブックなどを赤谷プロジェクトサポーターと協働で作成したいと考えています。

【当面の課題】

- ボランティアによるテンモニ調査の継続
- センサーカメラによる、ホンドテ



テンモニ調査に参加した高校生

の撮影
○ホンドテンの餌となる動植物及び生息環境の調査
などが、当面の課題となっていていますが、昨年までにテンモニ調査を実施していただいた、通称…テンモニ隊の皆様及び足立高行先生（応用生態技術研究所所長）が引き続き協力していただけることとなりました。

【アウトプットのイメージ】

- テンモニ調査をとおして、フイールドサインの見つけ方を体験しながら、森林の生態系について学び、人と森林や自然との関わり方について考えたいといった、いわゆる「ホンドテンの目から見える環境教育実践マニュアル（仮称）」の作成を検討します。
- ホンドテンにスポットを当てた、自然観察会等の開催。（例…「テナの付くもの探せ！」「テンモニ調査と自然観察会」テン糞から見える自然環境」など）
- 作成した本・冊子には、市民との協働で活動するためのノウハウ等も掲載したいと考えています。

赤谷センターが設置され、今年度で11年目を迎えます。赤谷センターでは、赤谷プロジェクトの10年間で培った知見等を活用するための様々な新たな取組を進めたいと考えています。

私と国有林

社会貢献の森「スカウトの森」活動から学ぶ

ガールスカウト千葉市協議会 会長 安達 節子



当協議会は千葉市内のガールスカウト12カ団が所属し、未来を担う少女達がさまざまな体験

の積み重ねにより社会に貢献できる女性に成長するよう、会員及び会員外の少女達に多くの体験活動の場を提供する事業を推進しております。「スカウトの森」は、自ら森を育て

守る活動を通して地球温暖化防止などの環境問題への関心を促し、自然の大切さを実感すると共に、豊かな感性を育む環境教育・森林体験活動事業として、13年前に始まりました。木更津市高塚国有林89い3林小班の45haの伐採跡地を借り受け、千葉森林管理事務所のご指導のもと、平成13年3月にガールスカウト会員や支援者が灌木やツルを急な斜面に沿って階段状に並べて整備する地拵えから手をつけ、4月28日に植樹祭を開催しました。当日は「地球のこと・水のこと・

空気のことを考えながら」小学1年生から高校生の少女会員・支援者等およそ350人が集まり、杉苗1000本、ヤマザクラ等の広葉樹500本を植林、「スカウトの森」と名付けました。

この森は私達の住んでいる千葉市から館山自動車道で約1時間の所にありますので、植樹以来毎年、春と秋に大型バスを連ねて現地へ行き、植樹した木の下草刈りやツル切り、



森林教室で火おこし体験

歩道の草刈り等を行い、雑草や雑木に負けないで木々が元気に育つように保育作業を続けています。山の斜面に登り、慣れない鎌での作業は刃物の扱いや危険回避の知識を身につけ、蜂や蛇との遭遇も的確な判断と行動を学ぶ貴重な機会となっております。毎回、開会式では森林管理事務所の方々が森の役割や山作業について教えて下さり、汗を流した作業後の森林教室では木切れを使った工作、ノコギリで丸太や竹切り、昔の道具での火起こし、大きな木の間に張ったロープを渡るモンキーロープ等体験し、楽しみながら自然とふれあい、森林の大切さへの理解を深め、後日、参加者は活動の中で気づいたこと等を感じ文にまとめて「森林はともだち」の作文コンクールに応募しています。この林業体験と自然教室の案内は千葉市の「市政だより」に掲載し、一般市民へ参加を呼びかけております。

土壌が良
いとのこと
で木々の成
長が目覚ま
しく、平成
19年度から
は毎年2月
に杉の下枝
落とし作業、
平成23年度
からは杉林



周りの草を刈って歩道整備

の間伐作業も加わるようになり、お陰様で平成24年度には長年の活動が認められて千葉県ライトブルー少年賞を受賞し、千葉県知事から表彰されました。
13年前の植樹以来、千葉市のガールスカウト達は誰もがこの森に入り、体験活動を通して多くのことを学んでいます。これからも千葉森林管理事務所のご指導のもと、少女達や一般の方々に森林の役割や自然を守ることの大切さを伝え、自然に親しみ、自然を愛しむ心を育む活動の場として、「スカウトの森」事業を継続してまいります。



下草刈が終わって記念撮影

森づくりの最前線

利根沼田森林管理署 谷地森林事務所 森林官 中澤 さつき



上州武尊山 山頂

私が勤務する谷地森林事務所は群馬県北部の川場村に位置し、約4700haの国有林を管理しています。川場村は村内の90%が森林です。北に百名山の武尊山（標高2158m）を有し、豊かな自然環境を生かした「田園理想郷」を目指して地域づくりに取り組まれていて、森林を木材資源としてばかりではなく、都市交流事業やスポーツ事業など多面的な資源として利用を進めています。



川場スキー場

また、冬場の森林レクの代表格スキー場ももちろん健在です。ご存じの方も多いと思います。村内には道の駅の中で人気スポットとなっている「川場田園プラザ」があり、週末には首都圏に近いこともあり大賑わい입니다。このように地元との関係も深い分、時には関係機関や森林管理署との調整に走り回って大変なときもありますが、地域の中で仕事をしている実感のある森林事務所だと感じています。さて、我が仕事場は、村の北にそびえる上州武尊山の山麓・山腹。ここで森林調査、境界巡視、林況把握などに走り回る毎日をご過ごしています。ご紹介した国有林ですが、少々自然が豊かすぎるのか？最近



クマによる剥皮被害の状況

しばしばクマの影がちらついて、戦々恐々気味の日々を送っています。左の写真は、クマによるヒノキ造林木の剥皮被害です。森林管理署管内の東の方で始まったクマ被害ですが、次第に範囲を広げて、当事務所の国有林でもこんな状況が見られるようになってきました。また、左下の写真は山中に設置したスズメバチの誘引剤を入れたペットボトルですが、甘い香りにはクマも引き寄せられるようで、ツメでざっくりと引き裂かれています。これで味を覚えたクマが、山中の休憩所や車輻のペットボトルを狙うのではないかと、少々心配です。つい先日は、ついに樹上の若



クマが切り裂いた蜂誘引のペットボトル

グマと御対面……。早々にクマの方が退散してくれたので事なきを得ましたが、さすがに写真を撮る余裕ありませんでした。こんなワイルドな？職場ではありませんが、机仕事では味わえぬ自然の造形に出会えるのもこの職場ならではのことに。森林調査では自然ならではの家族連れのようなミズナラに出会ってみたり、寒い冬の早朝の現場行きでは、思わず車を止めて1枚撮ってしまうような景色にも出会うことができます。これからもいろいろなことに出会えると思いますが、良いことも悪いことも貴重な機会として経験を積み重ねていくつもりです。

管内のいちおしスポット

恵みの森

■ **会津森林管理署 南会津支署** <http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/minamiaizu/index.html>
 〒967-0692 福島県南会津郡南会津町山口字村上867
 TEL:0241-72-2323(代表) FAX:0241-23-2334

紹介する”いちおしスポット”は、福島県南会津郡只見町の「恵みの森」です。

只見町布沢地区の奥地、大滝沢沿いに広がるブナの原生林で、東松山国有林のうち470haを「郷土の森」として設定している所です。

只見町は、「自然首都・只見」をキャッチフレーズにブナの原生林を主体とした森林を保護するとともに、当該地区の歴史や文化的背景を踏まえた活用を通じて地域振興を図っており、これらの要望にこたえ積極的に活用することを目的に郷土の森の協定を締結しています。

集落から現地の入り口まで道幅が狭く大型バスが入れなく団体の入り込みが難しく、また、この地域は豪雪地のため、入り込み期間は5月中旬から11月中旬頃までとシーズンは短かく、天候にも左右されますが、最近はリピーターも多く、年間約4千人から6千人の入り込みがあります。

森の入り口には案内板も整備され、春の雪解けを待って多くの方が訪れます、雪解けとともにブナの芽吹きを目にしたときは感動的です。

また、森の中には、なだらかな遊歩道と穏やかな流れの沢の中を歩くコース（長靴がおすすめ）も整備され初心者でも気軽に森林浴や沢歩きが楽しめることが魅力です。

大滝沢は約4kmに及び一枚岩でその流れの中には「大滝」「下滝」「中滝」「魚止滝」の4つの滝があります。

夏には、下界の暑さをよそに溪流トレッキングで涼風がカラダ中に染みわたり、沢遊びなど森の中は最高のシーズンを迎えます。

「恵みの森」を訪れるグループの中には子供連れも多く、大滝沢の中での水遊びに興じる歓声が聞こえ、楽しい夏の思い出にしてくれることと思います。

町では、地元ガイドや宿泊できる「山村くらし体験施設」の整備をして「お・も・て・な・し」をしていますので「恵みの森」を訪れ、体感してみてください。



恵みの森入り口



恵みの森の中での沢遊び



恵みの森の中のブナ林

■ ■ **編 発**
行 所
F T 行
A E 集
X L 所
 (0227) **総 関**
 (0227) **東 東**
 221 **森 森**
 230 **林 林**
 001 **管 管**
 111 **理 理**
 315 **局 局**
 38 課 課